

基本構想策定のための検討項目の整理

1. 大規模学校

WGで検討し、推進委員会に諮る項目

- A. 大規模な学校になることへの不安（生徒児童数の多さ）
 ⇒1クラスの人員配置を可能な限り少人数に（30人以下に）
 ⇒毎年クラス替えとクラス選択制の導入
- B. 中学生から小学生への影響
 ⇒小中学校の建物を分ける（施設の工夫、教室の配置の工夫）
 ⇒施設一体型であっても小・中専用施設の設置

2. 施設

WGで検討し、推進委員会に諮る項目

- A. 大規模校に対応する設備の整備
- B. 地域の人が使える校舎（スロープ、バリアフリー）
- C. 休日の学校開放（図書館、体育館、グラウンド）
- D. 地域の色々な年代の人と交流できるスペースの設置
 ⇒2階建て体育館の建設（1F小学生、2F中学生）
 ⇒壁を可動式にする
- E. 多様な子供たちに対応できるような校舎の整備
 ⇒教室を区切らずオープンなスペースをつくる（子供たちが学びたいスタイルで学べるようにする）
- F. 1,300人強の給食を自校方式とする
 ⇒給食センター並の施設を整備

3. 防災

教育委員会で検討し、推進委員会に諮る項目

- A. 大規模校に見合った防災面の検討（校舎・体育館）
 ⇒防災対策を考えた設備の整備

4. 敷地

教育委員会で検討し、推進委員会に諮る項目

- A. 敷地が狭い
- B. 十分な教育活動を保証するための施設整備（グラウンド、体育館、特別教室、部活の練習の場、駐車場等）
 ⇒敷地確保に向けて早期の用地買収
 ⇒土地購入を最優先（施策は後⇒施設配置は土地に合わせる）
 ⇒駐車場の確保（送迎、学童、教職員）
 ⇒スクールバスを導入するならバスロータリーが必要
 ⇒それぞれの学校が大切にしてきた教育活動の維持（畑・カリンなど）
 ⇒南中周辺にこだわらない

5. 建設期間中の対応

教育委員会で検討し、推進委員会に諮る項目

- A. グラウンドは使えるのか
- B. 南中生徒の学習環境の保障
 ⇒教育活動の保証

6. 通学路

基本構想策定後に検討する項目

A. 通学路が危険

- ⇒通学路の危険個所の洗い出しと低学年目線での安全対策
- ⇒歩道、横断歩道、歩道橋、自転車道などの安全対策
- ⇒線路、国道、河川、商業地などの安全確保
- ⇒場所によっては車の一方通行化

B. 低学年の通学距離・安全面

WGで検討し、推進委員会に諮る項目

- ⇒スクールバスの導入、又はかりんちゃんバスの利用（低学年のみでも）
- ⇒見守り隊の配置（外注も検討する）

7. 通学区

基本構想策定後に検討する項目

A. 学校規模に考慮した通学区の整備

B. 居住地区と通学区の関係性の整理

- ⇒通学区の整理
- ⇒南部地区だけの問題ではなく、東部地区や西部地区とのバランスを重視する
- ⇒四賀地区は同じ学校に通学（武津、細久保、普門寺）
- ⇒通学区の自由選択性（ただし地区子供会には別の学校を選択した子も参加可能とする。）

8. 人間関係

WGで検討し、推進委員会に諮る項目

A. 学校内の人間関係（人間関係の固定化など）、いじめ対策、先生への不安

- ⇒ソフト面の充実（スクールロイヤー、カウンセラー、支援員の配置、上級生によるメンター制の導入）
- ⇒支援室・相談室の設置
- ⇒1～2名の少人数が学習できる部屋の設置
- ⇒QRコード、相談カードの導入

9. 多様性と支援

基本構想策定後に検討する項目

A. 児童・生徒の多様性、不登校、支援が必要な子供たち、小中一貫による子供達のストレスケア

- ⇒インクルーシブ教育の推進、スクールソーシャルワーカーの導入

10. 小中の格差

WGで検討し、推進委員会に諮る項目

A. 低学年に厳しくならないよう設備、備品など体格差の配慮

B. 小学校低学年と中学生のパワーバランスに配慮（知力体力の問題）

- ⇒小中一貫教育がうまくいっている事例のノウハウを導入
- ⇒小学校用の校舎設備、中学校用の校舎設備、共有エリアを区分けして設計
- ⇒小中の時間軸の区分け

1 1. 学校像 A. 学校名 B. 南部地区小中一貫校は何を一番に目指すのか	WGで検討し、推進委員会に諮る項目
1 2. 跡地 A. 跡地の有効利用 ⇒中洲小跡地は部活、クラブ活動、行事に利用 B. 四賀小・中洲小の跡地利用 ⇒何を残していくのか	基本構想策定後に検討する項目
1 3. 地域 A. 地域住民の合意 B. 子供・保護者・地域の方の理解 C. 地域や保護者への計画案の説明、公表 ⇒決定する前に保護者や子供たちへしっかりと説明をする	教育委員会で検討し、推進委員会に諮る項目
1 4. PTA・同窓会 A. 3校統一又は通学区別の検討 B. PTA組織・同窓会組織の統一イメージが不透明（あり方、会費、組織、体系をどうするのか） ⇒3校のPTA、同窓会、コミュニティスクールで話し合う ⇒先進事例の収集	基本構想策定後に検討する項目
1 5. 施設・設計 A. 様々な意見を反映 ⇒幅広くアンケートをとる	教育委員会で検討し、推進委員会に諮る項目
1 6. 制服・ジャージ A. 小中両方に導入するのか ⇒選択制とする（小中それぞれの仕様）	基本構想策定後に検討する項目
1 7. その他 A. 保育施設、フリースクール、部活、社会体育	基本構想策定後に検討する項目